

# エネルギーを大切に

石油、電気、ガス—これらのエネルギーなしには、私たちの暮らしは一日たりとも成り立たないといつていいでしょう。  
特にわが国の場合は、産業、輸送、民生すべてのエネルギー需給の約七割を石油でまかなっており、

## 省エネルギーのポイント

電気は、わたしたちの暮らしに片時も欠かせない、身近で便利なエネルギーです。  
一年を通して、最も多く電気を使うのは七月、八月の夏場です。電力消費量はグングン上昇し、電

その石油の九九・七％は海外から輸入しています。私たちの暮らしを支えるエネルギーは、そのほとんどを「輸入石油」に依存しているのです。資源に乏しいわが国としては、文字通り、一滴たりとも石油をおろそかにはできません。

力はピンチに追い込まれます。この機会に、みなさんのご家庭でも、上手な電気の使い方について考えてみませんか。  
クーラーと冷蔵庫の上手な取り扱い方を特集しました。

暮らしを支える

石
油

直射日光のあたらない、北側の風通しのよいところが最適です。やむを得ず、日の当たるところに取り付ける場合は、日除け屋根をつくり、直射日光を避けましょう。また、木や朝顔などを植えて直射日光をさえぎるのも、日除けの一つの方法です。

**クーラー**

**取り付け場所**  
日陰で風通しのよいところを選ぼう

**室内への日差しをしゃ断**  
カーテンやブラインドを利用しよう

窓から入る直射日光は室内温度を高め、クーラーに大きな負担をかけ、それだけ電気も多く使います。すだれなどをかけるのもよく、また、朝顔のような植物や木を植えるのも一つの方法です。

**室内温度**  
冷えすぎないようにしましょう

冷えすぎは健康によくないばかりか、電気のムダ使いです。条件によっても違いますが、およそ冷房温度を一度下げると、電気使用量は約一〇％増えます。  
冷房中の室内温度については石油消費量の五％節減を達成するため、摂氏二十八度程度とするよう国をあげて努力しています。少し暑いと感じる時もあるかもしれませんが、五％節減に協力したいものです。

**手入れ**  
エア・フィルターはこまめに掃除を

エア・フィルターにホコリやゴミがつくと、空気の流通が悪くな

り、それだけ余計に電気を使う結果になります。一般住宅の場合、一日に八時間クーラーをつけるとして、フィルターの掃除をせずに一カ月使うと、風の量は約一〇％減り、冷房効果はそれだけ落ちます。一〜二週間に一度は掃除をしましょう。

## 冷蔵庫

**置き場所**  
背面をピツタリ壁にくっつけて置かない

冷蔵庫の背面には、放熱板という熱を捨てる装置がついています。この放熱板の風通しが悪いと冷却効率が悪くなり、その分だけ電力が浪費されます。冷蔵庫の背面は、少なくとも壁から十〜十五センチ離して置いてください。できれば、背面だけでなく左右も同じように間隔をとり、風通しをよくしてください。

また、日の当たるところや、ガスコンロのそばなど熱気のあるところは避けましょう。

**ドアの開閉**  
回数を少なく手早く

一回ドアを開けると、三分の二は外の空気と入れかわります。部

屋の温度が摂氏三十度のとき、約十秒間ドアを開いたままにしておくと、庫内の温度は摂氏五〜六度上がります。そのたびにモーターが回り、電気を使うことになりま

**庫内の整理**  
つめすぎないよ うにしましょう

庫内は、冷気の流れて冷えます。食品をスキ間なく詰め込むと冷気の対流が悪くなり、それだけ冷却効率が落ち、電気の使用量がふえます。  
また、熱いものは十分さましてから入れないと、庫内の温度が上が

**検**  
ドアのパッキングがいたんでいませんか

ドアのパッキングがいたんでいて、ピツタリ閉まらない場合は、すぐ取り替えましょう。スキ間があると、そこから冷気が逃げ電気のムダになります。ときどきパッキングを掃除しましょう。ドアにハガキをはさんで閉じてみて、自然にズレ落ちたり、軽く触れただけでハガキが動くようでは、パッキングがいたんでいる証拠です。すぐ取り替えましょう。